

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 26 日作成)

委員会名	市民・子ども教育小委員会	主 査 名：稲葉武司
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	大人や子どもを対象とした人工環境（具体的には建築・都市など）の教育のあり方と今後の進むべき方向について調査研究を行い、人工環境教育のためのガイドラインを提案する	
委員構成 (委員名(所属))	稲葉 武司(建築と子供たち)、諫見 泰彦(福岡市立博多工業高等学校)、石黒 豊明(㈱PLAN21)、三枝 頼子(市原市役所)、佐久間 博(㈲アトリエ佐久間)、篠部 裕(呉工業高等専門学校)、壽崎 かすみ(龍谷大学)、鈴木 明(神戸芸術工科大学)、鈴木 賢一(名古屋市大学)、十代田 知三(芝浦工業大学)、富樫 豊(富山建築・デザイン専門学校)、永瀬 克己(法政大学)、早川 典子(東京都江戸東京博物館)、山口 邦子(共立女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	①4/23：11名、②5/19：13名、③6/10：10名、④7/7：8名、⑤7/31：10名、 ⑥9/6：14名、⑦10/9：7名、⑧11/12：8名、⑨12/9：6名、⑩1/13：5名、 ⑪2/12：4名、⑫3/22：7名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	(1) 内外における「人工環境教育」の実態調査(委員活動の基礎資料の構築を目的としている) (2) 国際建築家連盟「人工環境教育ガイドライン」訳出(本会会員に対する人工環境教育についての啓発を目的としている) (3) 2003 年度大会(東海)研究懇談会開催(テーマ「市民・子どもと建築をむすぶミュージアム」をとおして博物館教育の役割について啓発を目的として開催) (4) 資料「市民・子どもと建築をむすぶミュージアム」作成
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 大会研究懇談会の開催を契機に所期の目標を達成できた。
その他評価すべき事項	建築学会という組織が市民との接点と会員の社会参加を促すメカニズムの弱い点を補っている。